



第9回

室蘭工業大学テクノカフェ

7/18日・19日(祝) 入場無料

紀伊国屋書店札幌本店1階 インナーガーデン
札幌市中央区北5西5 sapporo55ビル

シップリサイクル展

7/18日 11:00~21:00 19日(祝) 10:00~15:30

バングラデシュなどの廃船解体の現状と解体中の船の備品や工具類
実物大の船の煙突の写真などを展示します。



シップリサイクル事業で解体した船の工具・備品

ものづくりをテーマに社会の第一線で活躍する方のお話を聞く、
室蘭工業大学テクノカフェ。今回は、現在、室蘭で行われている、
新しいシップリサイクルモデル構築事業についてトークを行います。
また、シップリサイクル事業で解体した船の備品の展示のほか、
錫を使ってカントリーサインを造る、鋳造体験も行います。



5mを超える実物大の船の煙突写真

ものづくり体験教室

すず
錫でカントリーサインを作ろう!

7/19日(祝) 10:30~12:30 定員30人

鋳型を作り、錫を使ってお好きなカントリーサインが作れます。

【お申し込み方法】
参加される方の住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、
下記お申し込み先にFAXしてください。※定員になり次第、締め切ります(先着順)。

【お申し込み先】
室蘭工業大学 清水研究室 FAX:0143-46-5651まで



鋳製の
カントリーサインが
出来ます!

ものづくりトーク

リサイクルを考える
「シップリサイクルが開く 船の未来」

7/19日(祝) 14:00~15:30

ゲスト

 日本海洋科学
 海外事業グループ計画部長
仲條 靖男氏

聞き手

 室蘭シップリサイクル研究会座長
 室蘭工業大学 准教授
清水 一道氏

トークはお申し込み不要です。直接会場にお越しください。

シップリサイクルとは

現在、世界で役割を終えたほとんどの船が開発途上国などで解体されていますが、廃船から出る廃油や有害物質による環境汚染や、劣悪な労働環境での事故などが国際的問題になっています。そのため、2009年5月にシップリサイクル条約が締結されましたが、今後、安全で環境にやさしい船舶の解体処理と再利用する、シップリサイクルシステムの構築が急務となっています。

室蘭では、2008年1月、室蘭シップリサイクル研究会を立ち上げ、建造から廃船、解体処理や再利用までのシップリサイクルシステムの実現を目指して、さまざまな活動を展開してきました。

今年3月からは国土交通省の委託事業として、室蘭港で10年3月から自動車運搬船の解体実証実験を行っており、その成果が待たれているところです。



MURORAN-IT TECHNO CAFE 7/18(日)・19(月・祝) 入場無料

【会場】

紀伊國屋書店札幌本店1階 インナーガーデン
札幌市中央区北5西5 sapporo55ビル

【内容】

①ものづくり体験教室 ■19日(月・祝)10:30~12:30

「錫でカントリーサインを作ろう!」定員30人

街の標識としてすっかり定着しているカントリーサインを、実際の鋳型を使い、錫で鋳造する体験教室です。

②ものづくりトーク ■19日(月・祝)14:00~15:30

「リサイクルを考える~シップリサイクルが開く海の未来」

室蘭で実験が進められている、大型船舶の解体と再資源化。事業管理者の日本海洋科学の仲條靖男さんと、実施主体の室蘭シップリサイクル研究会座長の清水一道・室蘭工大准教授に、実験が切り開く、新しいシップリサイクルの形について語ってもらいます。

ゲスト
株式会社日本海洋科学
海外事業グループ計画部長
仲條靖男氏

聞き手
室蘭シップリサイクル研究会座長、
室蘭工業大学 大学院工学研究科もの創造系領域材料工学ユニット・ものづくり基盤センター准教授
清水一道氏

③シップリサイクル展 ■18日(日)11:00~21:00 ■19日(日)10:00~15:30

バングラデシュなどの廃船解体の現状と、現在室蘭で解体中の船の備品や工具類、実物大の船の煙突の写真などを展示します。

お申し込み・お問い合わせ

体験教室は、住所・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、下記申し込み先までFAXで申し込みをしてください。トークは申し込み不要です。

申し込み先 室蘭工業大学 清水研究室 FAX 0143-46-5651

お問い合わせ

室蘭工業大学ものづくり基盤センター
〒050-8585 室蘭市水元町27-1 ☎0143-46-5651(清水研究室)

北海道新聞室蘭支社営業部
〒051-0016 室蘭市幸町5-6 ☎0143-22-5163

